8 故障すると

「ピッピッピッ、故障です。」と鳴ります。

●親器・子器は約1時間ごとに煙検知部または熱検知部の自動試験を行い、煙または熱が正常に検知できなくなると、故障警報音が鳴り作動灯(赤)が点滅して、自動的に故障をお知らせします。

故障警報動作

故障警報音：「ピッピッピッ、故障です。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッピッピッ」(警報音)が鳴る。
(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)

注 ●故障警報動作は連動しません。
●故障状態では煙または熱を検知できず、火災警報動作をしません。ただし、他の部屋で火災を検知した場合は、火災警報動作(連動動作)をします。
●移報接点は出力しません。

故障警報動作をしたら

●施工店または点検契約店に連絡してください。

故障警報音を停止するには

●警報停止ボタンを押すと、「ピッピッピッ、故障です。」が3回鳴り、その後約16時間故障警報音が停止します。

※作動灯(赤)は点滅し続けます。
※故障警報音停止中に警報停止ボタンを押した場合は、故障警報音が鳴り、操作後から再度、約16時間故障警報音が停止します。

警報が同時に発生したら…

●下記の優先順位に基づいて、一番優先の高い警報メッセージが鳴動します。

1. 火災警報
2. 故障警報
3. 電池切れ警報
4. 電波異常警報

9 廃棄について

不要となった親器・子器や交換後の専用リチウム電池は、電池の透明フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻き、各市町村で定められた方法に従って廃棄してください。

10 異常時の点検・処置

下記の点検・処置をしても異常がある場合は、施工店または点検契約店に相談してください。

状態	点検	処置
火災ではないのに火災警報動作をする。または 火災警報動作が止まらない。	殺虫剤やタバコの煙、調理の煙・蒸気などが煙感知器にかかっていませんか?	室内の換気をしてください。
	煙検知部にホコリなどがついていませんか?	煙検知部のホコリを取り除いてください。
	近くに調理の熱や蒸気が滞留していませんか?	熱・蒸気などを取り除いてください。
	検知部に煙や熱などが残っていませんか?	検知部の煙や熱をうちわなどであおいで取り除いてください。
「ピッ」音が鳴り、作動灯(赤)が点滅する。	警報停止ボタンを押して警報音(メッセージ)を確認してください。	警報の種類(電池切れ警報/電波異常警報/故障警報)によって、以下の項目を参照してください。 ➡**「6.電池切れになると」参照** ➡**「7.電波が届かなくなると」参照** ➡**「8.故障すると」参照**
「ピッピッ」音が鳴り、作動灯(赤)が点滅する。		
「ピッピッピッ」音が鳴り、作動灯(赤)が点滅する。		
作動灯(赤)が約8秒おきに点滅を繰り返す。		
作動灯(赤)が連続点滅する。		
「ピッ、未登録です。」と鳴る。	――	親器に子器が登録されていません。施工店または点検契約店へ連絡してください。
「ピッピッピッ、しばらくお待ちください。」と鳴る。	――	親器・子器が通信処理中です。しばらく待ってから操作してください。
感知器が火災警報動作をしているのに、接続機器が連動をしない。	――	感知器の移報接点端子部の異常、または移報信号線の断線です。施工店または点検契約店に連絡してください。
		接続機器の異常です。(接続機器に付属の説明書参照)

警報時と警報音停止時の動作について

	検知元の感知器		連動先の感知器	
	作動灯(赤)	警報音	作動灯(赤)	警報音
通常時	消灯	―	消灯	―
火災警報動作時	早い点滅	火災警報音	早い点滅	火災警報音
検知元で火災警報音を停止させた場合	消灯	―	消灯	―
連動先で火災警報音を停止させた場合	早い点滅	火災警報音	消灯	―
故障警報動作時	早い点滅	故障警報音	連動先は警報動作しません。	
故障警報音停止時	早い点滅	―		
電池切れ警報動作時	遅い点滅	電池切れ警報音		
電池切れ警報停止時	遅い点滅	―		
電波異常警報動作時	遅い点滅	電波異常警報音	遅い点滅	電波異常警報音
電波異常警報停止時	遅い点滅	―	遅い点滅	―

11 安全上のご注意(資格必要)

■必ずお守りください

⚠警告

必ず守る	**取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意する。** 守らないと、転倒・落下してケガをするおそれがあります。
	電池は必ず接続する。 電池が接続されていないと、機能しません。
禁止	**電池は火に投入したり、ショートさせない。** 爆発したり、やけど、火災になるおそれがあります。

12 各部のなまえとはたらき(資格必要)

取付ベースのはずし方

押し付けながら左に回す。

注 本体と取付ベースを取りはずしたり、取り付けるときは本体の外周を持ってください。検知部を持つと、商品が破損するおそれがあります。

13 お手入れ方法(資格必要)

本体を取りはずしてお手入れしてください。また、取付部付近の天井面を掃除するときも本体を取りはずしてください。

1 本体を取りはずす。

注 本体の外周を持ってください。検知部を持つと、商品が破損するおそれがあります。

2 汚れやホコリを取る。

布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから汚れやホコリを取ってください。

注 ●内部に水が浸入しないように注意してください。故障の原因となります。
●アルカリ性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使ったときには、表面にキズや割れが発生する場合があります。

3 取り付ける。

本体の位置合わせマークと取付ベースの位置合わせマークを合わせてはめ込み、「カチン」と音がするまで右に回してください。

位置合わせマーク(取付ベース)
位置合わせマーク(本体)
はずす　はめる
右に回す
取付ベース
本体

注 ●本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。
●検知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。
●専用リチウム電池のリード線をはさみ込まないように注意してください。
●移報信号線をはさみ込まないように注意してください。(BGW22428のみ)

14 定期点検のしかた(資格必要)

●定期点検を行うには、消防設備士(甲種第4類・乙種第4類)または消防設備点検資格者の資格が必要です。
●定期点検の際には安全な場所へ避難するなど、火災に備えた訓練を行ってください。

1 検知部を確認する。

ホコリやクモの巣が検知部表面につくと煙や熱を検知しにくくなったり、誤動作の原因となります。ホコリがついていた場合は「13.お手入れ方法」の手順に従って取ってください。

2 警報停止ボタンを約1秒間押す。

●操作した感知器から「ピッ、テスト中です。」が数回鳴り、その後すべての感知器からテスト結果を1分間お知らせします。
●テスト中は作動灯(赤)が点滅します。
●移報接点は出力しません。
●いずれかの感知器で警報停止ボタンを押すと、すべての感知器が鳴動停止します。
●警報メッセージの鳴動について確認したい場合は、手順3を実施してください。

3 警報停止ボタンを押し続ける(約4秒以上)。

注 **BGW22428は接続機器の確認が必要なため、必ず実施してください。**

●操作した感知器から「ピッ、テスト中です。」が1回鳴った後、火災警報音「ビュー、ビュー、火事です。火事です。」が鳴り、作動灯(赤)が点滅すれば正常です。
●連動先も正常であれば、火災警報音「ビュー、ビュー、他の部屋で火事です。」が鳴り、作動灯(赤)が点滅します。
●移報接点が出力します。(BGW22428のみ)
●警報停止ボタンをはなすと、すべての感知器が鳴動停止します。

テスト結果

メッセージ内容	処置方法
ピッ、正常です。	正常です。このままご使用になれます。
ピッ、電池切れです。	電池切れが近くなっています。該当する機器の専用リチウム電池を2コとも交換してください。
ピッピッ、電波が届きません。	周辺ノイズの影響を受けて、電波が受信できません。使用環境を確認して影響している機器を移動させてください。または親器とすべての子器の周波数チャンネルを変更してください。
ピッピッ、電波が受信できません。	
ピッピッピッ、故障です。	故障しています。すみやかに交換してください。
何もメッセージが鳴らない	専用リチウム電池がはずれているか、故障している可能性があります。専用リチウム電池のコネクタを確認してください。差し込まれている場合は、すみやかに交換してください。

動作機能と連動機能の確認をすると、下記項目について、異常などがないか確認できます。
●煙検知部・熱検知部の異常
●警報部(スピーカー)の異常
●電池切れ
●連動機能の異常
●電波異常

4 電池交換期限を確認する。

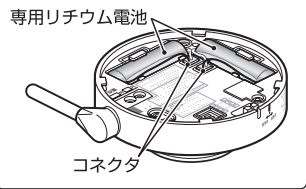
●電池交換期限は表面のラベルに記入しています。
●次回の定期点検前に電池交換期限を迎える場合は、専用リチウム電池を2本とも交換してください。

電波確認を行う場合

●親器の「電波確認ボタン」を押して、親器と子器間で電波が届いているかどうかの確認ができます。
●確認・処置方法については、施工説明書を参照してください。

専用リチウム電池の交換方法

1. 本体を取りはずす(「13.お手入れ方法」参照)。
2. 電池コネクタからコネクタを引き抜く。

3. 新しい専用リチウム電池を入れる(「施工説明書」参照)。

専用リチウム電池の品番：BGW227172520
(電池2コセット・電池交換期限ラベル付)

4. 新しい電池交換期限ラベルに交換期限(交換日より6年後の年月)を記入して、商品本体に貼り付ける。

注 ●油性マジックで記入してください。
ラベルが表面加工されていますので、ボールペンや鉛筆などでは記入できません。
●(社)日本火災報知機工業会において、煙感知器、熱感知器(半導体式)は10年が更新の目安とされています。2回目の電池交換時には、商品交換をお勧めします。

5. 「14.定期点検のしかた」を参照して正常に動作することを確認する。

親器・子器を交換する場合

●**親器を交換する場合**
交換後、使用するすべての子器を再登録してください。

●**子器を交換する場合**
交換する前に子器の登録を消去してください。
交換後、使用するすべての子器を再登録してください。

注 ●登録消去や再登録については、施工説明書を参照してください。
●親器は必ず使用してください。
●また、故障した子器の電池を抜いて放置されると、親器から電波異常警報が鳴ります。
使用しない子器は必ず登録を消去してください。

Panasonic®

特定小規模施設用

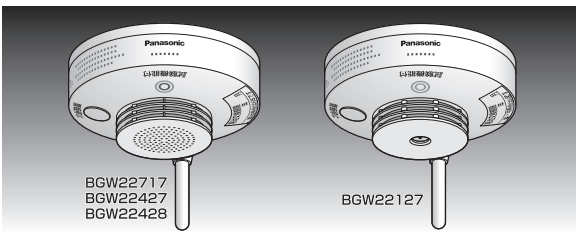
光電式スポット型感知器 2種
(試験機能付)(無線式・連動型警報機能付・電池式)(親器)
品番 BGW22717

光電式スポット型感知器 2種
(試験機能付)(無線式・連動型警報機能付・電池式)(子器)
品番 BGW22427

光電式スポット型感知器 2種
(試験機能付)(無線式・連動型警報機能付・電池式・移報接点付)(子器)
品番 BGW22428

定温式スポット型感知器 特種65℃
(試験機能付)(無線式・連動型警報機能付・電池式)(子器)
品番 BGW22127

取扱説明書

屋内専用　保管用
施工説明書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

火災警報が鳴ったら、まず現場を確認してください。

火災の場合	●119番などに通報する。 ●避難誘導および、可能であれば初期消火をする。
火災でない場合	●発生原因がわかれば取り除く。 ●発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

8A3 966 00004　M1209-30112A

連絡先一覧表　施工店や点検契約店など、記入されておくと便利です。

点検契約店	TEL
施工店	TEL
設備竣工	年　月　日

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626

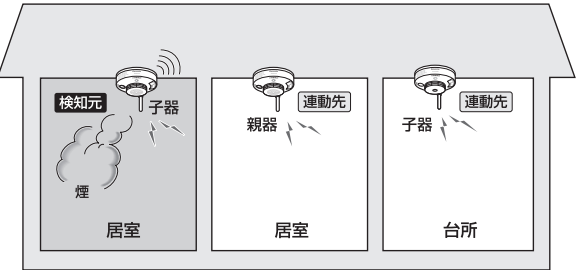
●取り扱いされる方

1 ご使用前に ～ **10 異常時の点検・処置**
をお読みください。

●点検・施工される方

11 安全上のご注意 ～ **14 定期点検のしかた**
をお読みください。

1 ご使用前に

- ●この商品は煙または熱を検知して警報する機能をもっています。
- ●警報する機能をもっていますが火災の防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- ●この商品は電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。
- ●設置されているいずれかの親器・子器が煙または熱を検知すると、登録しているすべての親器・子器が鳴動して火災をお知らせします。

2 安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠警告

警報部に耳を近づけて警報音を聞かない。
聴力障害などの原因となるおそれがあります。

3 使用上のご注意

- ●絶対に分解・改造しないでください。また、落下させたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ●この商品は、煙検知部または熱検知部の異常などを検出して自動的に警報する機能をもっています。警報音や作動灯の点滅にご注意ください(「8.故障すると」参照)。
- ●親器・子器は、設置された部屋以外の場所で発生した煙または熱では検知しないことがあります。
- **●殺虫剤(くん煙殺虫剤・加熱蒸散殺虫剤を含む)を使用する場合は、火災警報動作をするおそれがありますので、施工店または点検契約店へ連絡してください。**
- **●ライターなどの直火で熱検知部を温めないでください。故障の原因となります。**
- ●日頃、人の居ない部屋に取り付ける場合は、警報音が聞こえることを確認してください。
また次のような場合は警報音が聞こえないことがあります。

  - ●薬を服用して就寝した場合
  - ●飲酒して就寝した場合
  - ●交通・ステレオ・テレビ・エアコンなどの騒音が大きい場合
  - ●ヘッドホンなどを使用されていた場合
  - ●補聴器などを使用されていて耳が不自由な場合
- ●電波(ノイズ)を頻繁に受けると、電池の消耗が早くなる場合があります。

おことわり

●親器・子器は、総務省の技術基準に適合しています。
商品に貼り付けられている表示(〒マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。

定期点検について

感知器は、設置後の保守点検・維持管理がともなって、はじめて正常な機能を発揮する商品です。
施工店または点検契約店と「点検契約」を結んでください。

●点検は法律で義務づけられています

消防関係法令では、防火対象物の関係者(建物の所有者、管理者または占有者)は、定期点検の実施およびその結果を報告するように定められています。点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。

■消防法施行規則第31条の6

- ●点検は、消防用設備などの種類および点検内容により1年以内で、消防庁長官が定める期間ごとに行う。
- ●点検を行った結果は、維持台帳に記録し、消防機関へ報告を行わなければならない。

■点　検

点検の内容および方法	点検の期間
機　器　点　検	6ヵ月に1回
総　合　点　検	1年に1回

■報　告

1年に1回

●点検には資格が必要です

定期点検は、国が定めた資格者(消防設備点検資格者または消防設備士)が行うよう、法令で決められています。

■消防法第17条の3の3

- ●消防用設備の点検は、消防設備士または総務省令で定める資格者に行わせなければならない。

●「パナソニック防災取扱店と点検契約」をおすすめします

パナソニック防災取扱店などと「点検契約」を結びますと、専門の知識・技術を持つ有資格者が定期的に訪問し、責任を持って感知器の点検をいたします。感知器の正常な機能を維持するために、「点検契約」を結ばれることをおすすめします。

4 各部のなまえとはたらき

光電式スポット型感知器(煙感知器)	親器(BGW22717) 子器(BGW22427) 子器(BGW22428)

警報停止ボタン/作動灯(赤)(通常時:消灯)
- ●警報音を停止させたり、点検時に使用します。
- ●警報時、点検時に点滅します。

種別ラベル
- ●感知器の型式を示します。
  - ゴールド(試験機能付)
  - 青(蓄積型)
  - 透明(2種)
  - 透明(種別の意味はありません。)

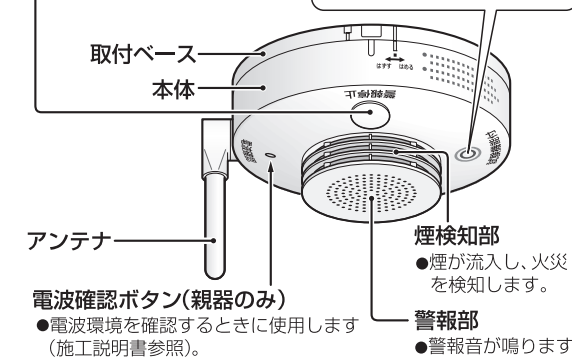
取付ベース

本体

アンテナ

電波確認ボタン(親器のみ)
- ●電波環境を確認するときに使用します(施工説明書参照)。

煙検知部
- ●煙が流入し、火災を検知します。

警報部
- ●警報音が鳴ります。

定温式スポット型感知器(熱感知器)	子器(BGW22127)

警報停止ボタン/作動灯(赤)(通常時:消灯)
- ●警報音を停止させたり、点検時に使用します。
- ●警報時、点検時に点滅します。

種別ラベル
- ●感知器の型式を示します。
  - ゴールド(試験機能付)
  - ゴールド(特種)
  - 透明(種別の意味はありません。)

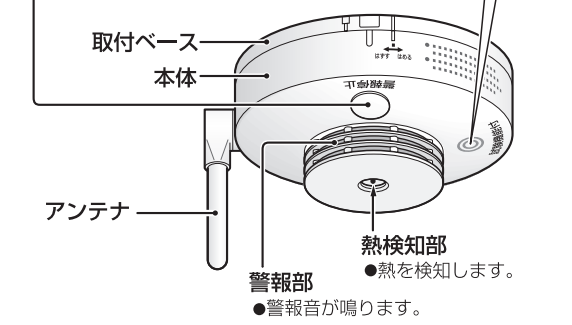
取付ベース

本体

アンテナ

熱検知部
- ●熱を検知します。

警報部
- ●警報音が鳴ります。

■仕　様

項目	内容
種　別	BGW22717・BGW22427・BGW22428:光電式スポット型感知器 BGW22127:定温式スポット型感知器
型　式	BGW22717・BGW22427・BGW22428: 2種(3V、300mA)・蓄積型(公称蓄積時間10秒) 非防水型、再用型、散乱光式、無線式(発信用・受信用)、 特定小規模施設用連動型警報機能付、電池方式(兼用非常電源) BGW22127: 特種(3V、300mA)・公称作動温度65℃ 非防水型、再用型、無線式(発信用・受信用)、 特定小規模施設用連動型警報機能付、電池方式(兼用非常電源)
型式番号	BGW22717:感第22～10号 BGW22427・BGW22428:感第22～11号 BGW22127:感第22～12号
登録可能感知器	BGW22717に登録できる感知器: BGW22427・BGW22127・BGW22428
使用電池	専用リチウム電池 BGW227172520(3V)(2コ入りセット品番)

■仕　様

項目		内容
電池寿命		6年(※)
移報出力(BGW22428のみ)		DC30V　0.5A
使用周波数(周波数設定スイッチで選択)		CH.1(426.6625)MHz CH.3(426.6875)MHz CH.5(426.7125)MHz CH.7(426.7375)MHz
警報音・音声警報	火災警報時	検知元:ビュー、ビュー、火事です。火事です。 連動先:ビュー、ビュー、他の部屋で火事です。
	電池切れ警報時	「ピッ、電池切れです。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッ」(警報音)が鳴動。(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)
	故障警報時	「ピッピッピッ、故障です。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッピッピッ」(警報音)が鳴動。(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)
	電波異常警報時	親器から「ピッピッ、電波が届きません。」(音声)、子器から「ピッピッ、電波が受信できません。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッピッ」(警報音)が鳴動。(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)
火災警報音量		1mにて70dB以上
送信出力		10mW $^{+20\%}_{-50\%}$
電波の到達距離(使用場所の環境により短くなります。)		親器～子器: 障害物のない場所での水平見通し距離約100m
寸　法		約φ100mm×約45mm(取付ベース含む)
質　量(専用リチウム電池含む)		BGW22717・BGW22427・BGW22127:約180g BGW22428:約185g
使用周囲温度		−10℃～+50℃
設置場所		天井面

※お客様のご使用環境により短くなる場合があります。

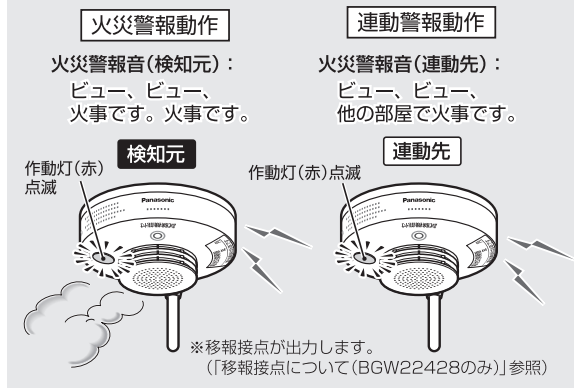
5 火災が発生すると

「ビュー、ビュー、火事です。火事です。」と鳴ります。

●煙または熱を検知すると、火災警報音が鳴り作動灯(赤)の点滅で、火災をお知らせします。

火災警報動作
火災警報音(検知元):
ビュー、ビュー、
火事です。火事です。

連動警報動作
火災警報音(連動先):
ビュー、ビュー、
他の部屋で火事です。

※移報接点が出力します。
(「移報接点について(BGW22428のみ)」参照)

煙検知部の煙、または熱検知部の熱がなくなれば、すべての親器・子器の火災警報動作・連動警報動作が止まり通常の状態に戻ります。 ※移報接点の出力も停止します。(BGW22428のみ)

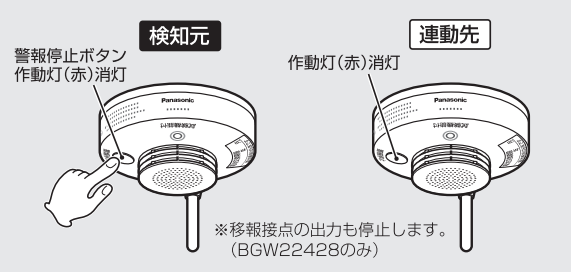
火災警報動作をしたら

●現場を確認して、119番に通報するなど適切な処置をしてください。

火災警報音を停止するには

検知元で火災警報音を止めた場合

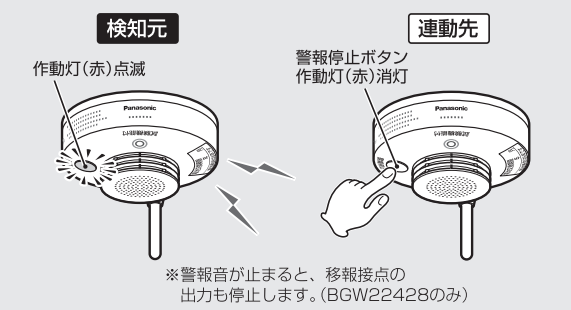
- ●警報停止ボタンを押すと、約5分間、すべての親器・子器の火災警報音を停止することができます。
- ●火災警報音停止中(約5分間)に警報停止ボタンを押した場合は、ボタンを押している間操作した機器から火災警報音が鳴ります。

検知元　警報停止ボタン　作動灯(赤)消灯
連動先　作動灯(赤)消灯
※移報接点の出力も停止します。(BGW22428のみ)

注 **火災警報音停止中(約5分間)は、検知元では煙または熱を検知しても火災警報動作をしません。ただし連動先では、煙または熱を検知すると火災警報動作をします。**
※移報接点が出力します。(BGW22428のみ)

- ●火災警報音を停止してから約5分後も煙または熱を検知している状態であれば、再び検知元では火災警報動作、連動先では連動警報動作をします。※移報接点が出力します。(BGW22428のみ)
- ●約5分後に煙または熱がなくなっていれば、自動的に通常の状態に戻ります。

注 **煙検知部の煙、または熱検知部の熱がなくなるまで、火災警報動作および連動警報動作を繰り返します。**

連動先で火災警報音を止めた場合

- ●警報停止ボタンを押すと、検知元以外の親器・子器の火災警報音を約5分間停止することができます。
(検知元は火災警報動作をし続けます。)
- ●火災警報音停止中(約5分間)に警報停止ボタンを押した場合は、ボタンを押している間操作した機器から火災警報音が鳴ります。

- ●火災警報音を停止してから約5分後も検知元が煙または熱を検知している状態であれば、再び連動警報動作をします。
※移報接点が出力します。(BGW22428のみ)
- ●検知元で約5分後に煙または熱がなくなっていれば、自動的に通常の状態に戻ります。

注 **煙検知部の煙、または熱検知部の熱がなくなるまで、連動警報動作を繰り返し、検知元では火災警報動作をします。**

- ●連動警報動作停止中に、連動先で煙または熱を検知した場合は、検知元では火災警報動作をし、連動先では連動警報動作をします。

火災以外でも下記のような場合に火災警報動作をすることがあります。

室内の換気をするなどして、火災警報動作の原因を取り除けば火災警報動作は止まります。

BGW22717・BGW22427・BGW22428

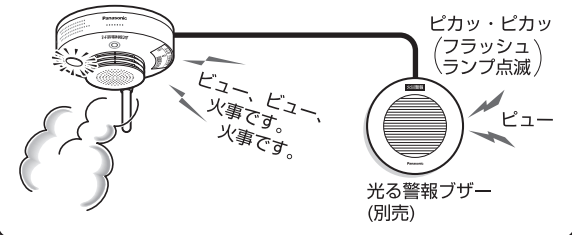
- ●殺虫剤や化粧品などのスプレーが直接親器・子器にかかったとき
- ●タバコや線香などの煙が親器・子器にかかったとき
(ただし煙を吹きかけた程度では警報動作はしません)
- ●くん煙式・加熱蒸散式の殺虫剤を使用したとき
- ●調理の煙や蒸気などが親器・子器にかかったとき
- ●親器・子器が結露したとき
- ●ホコリや虫(クモなど)が入ったとき

BGW22127

- ●レンジ・エアコン・ストーブなどの熱を検知したとき

移報接点について(BGW22428のみ)

●感知器の移報接点端子に光る警報ブザーなどを接続している場合は、感知器が火災警報中は移報接点が出力し続け、接続機器が連動します。

※接続機器の鳴動時間などは接続機器側の説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。

6 電池切れになると

「ピッ、電池切れです。」と鳴ります。

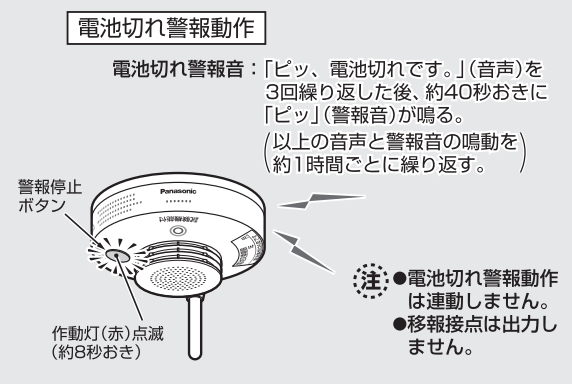
●専用リチウム電池の電池電圧が低下して電池寿命が近づくと、電池切れ警報音が鳴り作動灯(赤)が約8秒おきに点滅して、電池切れをお知らせします。

※電池切れ警報は約1週間継続します。
※電池寿命は6年を想定していますが、お客様のご使用環境により短くなる場合があります。

電池切れ警報動作

電池切れ警報音: 「ピッ、電池切れです。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッ」(警報音)が鳴る。
(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)

警報停止ボタン
作動灯(赤)点滅(約8秒おき)

注 **●電池切れ警報動作は連動しません。**
●移報接点は出力しません。

電池切れ警報動作をしたら

●施工店または点検契約店に連絡してください。

電池切れ警報音を停止するには

●警報停止ボタンを押すと、「ピッ、電池切れです。」が3回鳴り、その後約16時間電池切れ警報音が停止します。

※作動灯(赤)は約8秒おきに点滅し続けます。
※電池切れ警報音停止中に警報停止ボタンを押した場合は、電池切れ警報音が鳴り、操作後から再度、約16時間電池切れ警報音が停止します。

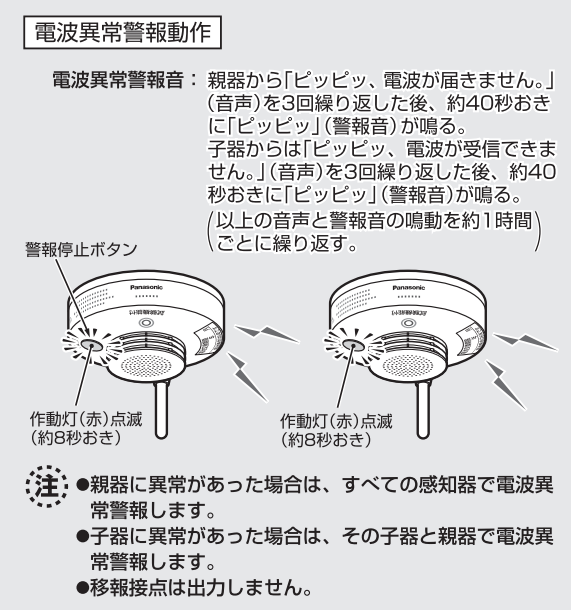
7 電波が届かなくなると

「ピッピッ、電波が届きません。」と鳴ります。

●親器と子器間の電波が届くかどうかを確認するために約1日に1回、自動的に電波確認を行い、異常があった場合に電波異常警報としてお知らせします。

電波異常警報動作

電波異常警報音: 親器から「ピッピッ、電波が届きません。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッピッ」(警報音)が鳴る。
子器からは「ピッピッ、電波が受信できません。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッピッ」(警報音)が鳴る。
(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)

注 **●親器に異常があった場合は、すべての感知器で電波異常警報します。**
●子器に異常があった場合は、その子器と親器で電波異常警報します。
●移報接点は出力しません。

電波異常警報動作をしたら

**●家電商品やOA機器の電波(ノイズ)の影響を受けている場合がありますので、それらの機器を移動させてください。
それでも鳴り止まない場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。**

電波異常警報音を停止するには

●警報停止ボタンを押すと、親器の場合は「ピッピッ、電波が届きません。」、子器の場合は「ピッピッ、電波が受信できません。」が3回鳴り、その後約16時間電波異常警報音が停止します。

※作動灯(赤)は約8秒おきに点滅し続けます。
※電波異常警報音停止中に警報停止ボタンを押した場合は、電波異常警報音が鳴り、操作後から再度、約16時間電波異常警報音が停止します。

→ 表面につづく